

# 国会を開いて、コロナ対策の議論を！



6月16日に会期150日間の通常国会が閉会しました。この国会ではデジタル社会形成基本法案や小学校の全学年において1クラス40人から35人に引き下げる法案なども成立しましたが、LGBT理解促進法案などは国会提出もできませんでした。また、会期中には河井克行元法相の議員辞職など政治とカネの問題がクローズアップされました。コロナ禍でも夜中に飲酒していた3人の議員が自民党を離党したことも記憶に新しいところです。

しかし、何より10都道府県に緊急事態宣言が出されている中での国会の閉会は理解に苦します。今でも、沖縄には緊急事態が、東京、大阪など10都道府県にはまん延防止等重点措置が発令されています。7月23日から始まる東京オリンピックの感染防止対策についても百家争鳴の状態。会場内の酒類の販売で二転三転。来日した選手団から、すでに陽性患者が複数出ていますし、その濃厚接触者の扱いも不透明。

本来、国会を開いて臨機応変にコロナ感染症対策の問題を議論すべきです。欧米先進国に比べて、数か月出遅れたワクチン接種も、現場力で徐々に進んできましたが、すべてワクチン頼みでは、日本経済が破たんします。営業の時短や酒類の販売の制限をお願いしている飲食店等への補償を事業規模別に適正に行い、持続化給付金等の再支給や各種の困窮者支援を充実させるために、今すぐ補正予算をつくるべきです。

今国会で、私は衆議院本会議も含め、予算委員会、内閣委員会で何度も質疑に立ちましたが、行政を監視する国会の役割は重要です。議員立法にもたずさわり、立法機関としての仕事もしています。民主主義の基本である国会の開会を強く要請します。

## 岸本周平 活動のひとコマ



幹事長代理や選挙対策委員長として、NHKの「日曜討論」に出演。コロナ対策の事業者支援など提案。



衆議院本会議や予算委員会での代表質問。これまで、政策通として国会で正々堂々の議論をしてきました。



WEBから岸本周平の活動が見られます！ ※スマートフォンからは右記QRコードを読み取り下さい。

<https://shuheikishimoto.jp>

岸本周平

検索



@shuheikishimoto

f 岸本周平



# 『健康長寿日本一わかやま』をめざし

いつも温かいご支援を賜り、誠に有難うございます。お陰様で県議会六月定例会(6/8~6/25)も閉会し、コロナ対策を中心に補正予算案件約117億2600万円、条例案10件、その他議案2件、専決処分報告2件他を審議し、全て可決致しました。

いずれに致しましても、一日も早いコロナ禍の収束を心から願うばかりです。

私自身、今議会から常任委員会を知事室、総務部、企画部等を所管する「総務委員会」に、特別委員会は「防災・国土強靭化対策特別委員会」に所属することになりました。

また、議会外ですが、『健康長寿日本一わかやま』の実現をめざして、県民の有志の皆さんと立ち上げた「一般社団法人 和歌山県健康長寿推進協議会」には、運動、栄養、社会参加等、各分野の専門家を招き、勉強会を重ねております。更に一昨年から設立準備を進めて参りました「和歌山100歳大学」のプレ大学をいよいよこの7/19からスタートさせることになりました。

どうぞ、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ申し上げます。

和歌山県議会議員(5期)  
浦口 高典  
うら ぐち こう てん  
1955(昭和30)年生まれ、和歌山市今福出身  
早稲田大学教育学部 卒業  
[党役職] 和歌山県連幹事長  
[所属委員会] 総務委員会、防災・国土強靭化対策特別委員会  
議会運営委員会

## 元コロナ感染者の声を市政へ直送

市議4年任期の折り返しを迎え、和歌山市議会では各常任委員会の後期改選が行われました。私は志願して前期の経済文教委員会から厚生委員会に異動しました。理由は100年に一度規模の最大かつ喫緊の課題である、新型コロナウイルス感染症対策に全力を尽くしたいとの想いからです。

未だ和歌山の議員でコロナに感染した経験のある人間は私だけですから、元コロナ感染者としての立場で現場の生の声を行政に届けられるのは私しかいません。

6月の定例会においても厚生委員会審査の場において、新型コロナウイルス感染症対策について提言致しました。主な質問の主旨は「キャンセルワクチンの有効利用について」、「ワクチン職域接種について」、「コロナ後遺症について」等であります。厚生委員会の一委員としてではございますが、元経済文教委員長としての経験並びに過去4年間在籍していた厚生委員会委員の経験を併せて、一人でも多くの命を救える活動に全力を傾注する所存です。頑張ります。



和歌山市議会議員(4期)

なが の ひろ ひさ  
**永野 裕久**

1973(昭和48)年生まれ、和歌山市出身  
和歌山県立和歌山東高等学校 卒業  
[党役職] 和歌山県連幹事長  
[所属委員会] 厚生委員会、議会運営委員会、  
地震等災害対策特別委員会

## 第5波に備え医療体制の充実を！

6月現在、和歌山市ではコロナウイルス感染症について陽性者はほぼ0~1名で推移し、昨年は開催できなかった学校のイベントが復活するなど一部明るい話題もありますが、世界的に見るといまだに感染が拡大している国もあり、当面は感染防止と社会経済活動をいかに両立させるかが課題になると思われます。和歌山市でも6月議会が開会され、その中では市施設へのコロナ関連設備費用やPCR検査体制の強化事業等の感染拡大防止策、中小企業サポート補助金や宿泊促進事業のその他様々な案件について議論がなされました。ワクチン接種は進みつつありますが、昨年では秋以降に感染者が増加しましたし、変異株も増加傾向にあり何が起こるかわからぬ状況です。

コロナに関していえば一番恐ろしいのは病床数のひっ迫により入院できない、重症者が治療を受けられない、本来救えるはずであった方が治療を受けられないという状況です。様々な対策予算が盛り込まれていますが、市民の誰もが感染の可能性がある中、等しく必要とされる公平な施策は病床数の確保と医療体制の充実に関する支出だと私は考えております。

今落ち着いていても常に緊急の事態に備え突然の拡大・第5波があるかもしれない。という可能性を常に考えつつ今後も活動していきたいと思います。

和歌山市議会議員(1期)  
山中 敏生  
やま なか とし お  
1984(昭和59)年生まれ、和歌山市砂山出身  
近畿大学経済学部経済学科 卒業  
[党役職] 和歌山県連幹事  
[所属委員会] 経済文教委員会、広報委員会

## 政策がある 国民民主党

詳しくはホームページをご覧ください▶<https://new-kokumin.jp>



### 提案中の政 策

1

#### 追加現金給付

家計の支援、感染拡大防止の協力金として、現役世代に10万円の一率給付  
(低所得者には20万円)

2

#### 事業規模に応じた支援

「家賃+従業員数×10万円」を時短期間に応じて融資し、時短営業に協力すれば実質支給(返済不要)

3

#### 消費税減税

消費税率を1年間限定で10%→5%に引き下げ